

Data ~3月末日分

人の動き

人口 26,803 人(-202)
 うち男 12,696 人(-95)
 女 14,107 人(-107)
 世帯数 11,794 世帯(-36)
 出生 11 人(男 7・女 4)
 死亡 30 人(男 15・女 15)
 転入 125 人 転出 308 人

火災・救急

火災出動 0 件 (1 件)
 救急出動 88 件 (259 件)

() は 1 月からの累計
 ■ 空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。火の元の管理は十分に注意しましょう

交通事故

人身事故 3 件 (6 件)
 死者 0 人 (0 人)
 負傷者 3 人 (7 人)
 物損事故 46 件 (122 件)

() は 1 月からの累計
 ■ ドライバーは夕暮れ時の早め点灯を、歩行者は反射材の着用を心掛けましょう

飲酒運転検挙者

(3月分) なし
 1 月からの累計 0 人
 (対前年比 △1 人)

休日当番医

※ 広報発行後に当番医が変更になる場合があります
 当日の新聞などで確認してください

月	日	休日救急当番医 (午前9時～午後5時)	歯科当番医 (午前9時～正午)
5	12	二戸クリニック (石切所) ☎ 25-5770	國香歯科医院 (石切所) ☎ 23-2764
	19	すがわら消化器内科 (福岡) ☎ 23-2879	国香歯科医院 (福岡) ☎ 23-2223
	26	金田一診療所 (金田一) ☎ 27-2205	森川歯科医院 (堀野) ☎ 23-6361
6	2	小野寺内科医院 (一戸町) ☎ 33-2505	ほんだ歯科クリニック (石切所) ☎ 23-9591
	9	ほそかわ小児科クリニック (福岡) ☎ 26-8100	菅歯科 (福岡) ☎ 23-5161

こちら編集室

帰ってきました、佐竹です！6 ページでも掲載していますが、1 年間、釜石市へ応援職員として行ってきました。釜石では、一生忘れることがないくらい濃い毎日を過ごし、応援職員という立場でしたが、いろいろなことを勉強させてもらいました。釜石市広聴広報課の皆さん、釜石市職員の皆さん、釜石市民の皆さんには、本当に感謝しています。この場を借りてお礼を申し上げます、ありがとうございました。さて、1 年ぶりに『広報にのへ』へ復帰となりました。釜石で勉強したこと、経験したことを生かして、市民の皆さんに寄り添った広報をお届けできるよう、精一杯がんばりますので、情報提供や取材に伺った際はよろしくをお願いします。(さたけ)

広報担当になってから1 年が経ちました。体はずいぶんと大きくなりましたが、広報作成はまだまだ成長途かなと感じる今日この頃です。御返地中学校を追いかけて1 年間、いよいよ今回で最後の記事となってしまいました。最後の生徒の皆さんが大人になってから広報を読み返して楽しんでくれたらうれしいですね。(清藤)

こみゆにTea たいむ

143 杯目



伝える、つなげる、宝の輪

にのへの宝 金田一の三観音

日ノ沢千手観音と天神山の千手観音、舟沢の聖観音は「金田一の三観音」と呼ばれ、かつて旧暦3月17日の縁日には、この三観音を巡る人たちが参道は列をなしたと伝えられています。



日ノ沢の千手観音

山の中腹の岩窟の中に千手観音が奉られています。緩やかな参道の途中には、亀の頭のような突きだした岩があり、縁結びの神様として奉られています。

天神山の千手観音

こけむした大きな岩と寄り添うように千手観音が奉られています。手前左側の小高い所には、天神社が奉られています。



舟沢の聖観音

十三曲と呼ばれるつづら折りの坂を徒歩で30分、屏風状に広がる大きな岩に観音さまが立っています。坂の途中にある東屋からは金田一地域が一望できます。

市のホームページでは、宝と共に生きる二戸のこれまでのまちづくりを紹介しています。
 問い合わせ先 公民連携推進課 (内線 363)



カシオペアFM (77.9 MHz) にて「にのへ宝さがし」放送中!!
 【本放送】毎週月曜午後2時30分～3時
 【再放送】毎週土曜午前8時30分～9時

公民連携まちづくり通信 #001

問い合わせ先 公民連携推進課 (内線 362)

市は、温泉や漆、九戸城跡などの「にのへの宝」を活かした公民連携によるまちづくりを進めています。

平成4年から「宝を生かした楽しく美しいまちづくり」に取り組み、市民の皆さんと一緒に宝さがしから宝おこしまで、協働の地域づくりを行ってきました。

一方で、高い可能性を持ち、多くの皆さんから価値を認めながらも、その宝を経済活動に結びつけることができず観光客数も減少しているという現状も。さらに、市の人口は減り続け、日本の総人口も減少に転じる中、今後の地方財政への不安、経済縮小のリスク、まちの魅力の向上など、解決すべき地域経営課題を多く抱えています。

このため、これまで市民の皆さんと築きあげてきた宝を活用し、財政負担を最小限に抑え自主財源を確保しながら、地域経済の好循環を生み出し、安心して暮らせる持続的な地域を創ることを目的に、平成30年

6月に公民連携基本計画を策定しました。

計画では、解決すべき課題解決に向け、官と民が適切に役割分担・連携し、空間資源や地域の宝をフル活用した民間主導の公民連携まちづくりを進めることとしています。これまで、主に行政主導で行われてきたまちづくりですが、地域経営を自立継続させながら豊かな公共空間を創るため、民間事業者が公共の精神を持ち事業を行い、市は民間の自立したプロジェクトを支援していくこととしています。

また、歴史的・産業的な宝が多数存在する「金田一温泉」「九戸城跡」「天台寺」周辺地区を、重点的に事業を行う公民連携推進区域と設定し、それぞれの宝を生かした活性化の方向を定め、魅力の向上を図ります。先行して事業が進む金田一温泉地区の進捗状況を含め、このコーナーでは隔月で公民連携の状況などについてお知らせしていきます。